

	活動	有効であった点	改善が必要と思われる点	子ども達の反応	保護者の感想
反転授業（家庭学習）	・NHK「読み書きのツボ（5W1H）」 視聴してワークシート	<p>・動画の視聴にかかる時間（15分）と内容について確認をする時間（10分ほど）が節約できたので、その分を「物語即興スピーチ」の「日本語で話す練習」にまわすことができた。</p> <p>・事前にNHK動画を視聴しておくことにより、授業開始時にはその週に身に付けたい「物語をつくる時のツボ」が理解できていたので、とてもスムーズに「物語即興スピーチ」の練習に進めた。</p> <p>・授業中に「今週も同じビデオの宿題がありますか？」「またあのキャラクターが見られるかな？」など、子ども達は反転授業の宿題を負担に感じるどころか、逆に楽しんでいた。</p>		<p>・子ども達から「大変だった。面倒だった。」等の声は聞かれず、「楽しかった。面白かった。」「次も見たい。」と興味関心をもって取り組んでいた。</p> <p>★すごく面白かったです。なぜなら、色々面白いキャラクターや出来事があったので、それを見ながら面白く勉強できてよかったです。</p> <p>★これから何かを書く時は、この五つのことをやろうとしたいです。</p> <p>★相手に分かりやすく伝える重要さを感じました。</p> <p>★「なぜ」があったとは知らなかった。</p> <p>★いろいろな文章の書き方をもっと知りたいです。</p> <p>★五つの中で一番重要な要素は何か、知りたくなった。</p> <p>★5W1Hのうちどれかがかかっていると、いろいろな想像ができてしまい、面白かった。</p> <p>★五個のうち一つでも抜けたら、分からなくなることが分かった。</p> <p>★この五つのものがなかったら、すごい違うことになっちゃうということが分かりました。</p> <p>★不思議だと思ったのは、（五つのうち）ひとつでも入れなかったら意味が分からなくなることです。</p>	<p>●「反転授業」のためのNHK「読み書きのツボ」の再生は大変でしたか？ （母）大変ではありませんでした。時間的にも、長すぎず、短すぎずでちょうど良かったです。</p> <p>（母）我が家のIPADには先生から来るメールが見られるので、簡単に再生でき、問題もありませんでした。 （母）簡単でした。</p> <p>●NHK「読み書きのツボ」は一緒にご覧になりましたか？ （母）一緒に見ました。小1の妹も一緒に二回ほど視聴しました。 （母）最初は娘が一人で見て、私がワークシートを見直しする際にもう一度一緒に見ました。 （母）子どもと一緒にみました。</p> <p>●見ている時のお子さんの様子はどうでしたか？ （母）例題を見て一緒に答えを考えたり、正解を見てなるほどなるほどと感心していました。5W1Hが抜けていると、違う意味になったり、相手にきちんと伝わらないねと話していました。 （母）とても面白そうに見ていました。私も、見ている「なるほど！」と思うところが多々ありました。</p>
	・NHK「読み書きのツボ（絵から読み取る）」 視聴してワークシート	<p>・この回のNHK動画視聴を通して、絵を見てすぐに読み取れる内容だけでなく、絵をじっくりと見て観察し続けることで、「絵の中には隠されているお話」が見えてくることを実感できたようだ。動</p>		<p>★絵をよく見れば、色々な物語が作れることに驚きました。</p> <p>★つぼや子ども達などがたくさん出てくるので、本当に楽しい教え方だと思いました。</p> <p>★分かりやすいので良かったです。</p>	

		<p>画の中で、子ども達が親近感を持てるようなキャラクター達や実際の小学生たちとのやり取りを見ることで、内容理解も簡単にできたようだった。</p> <p>・書く課題シートは提出しない（できない）子ども達もいるが、この動画視聴のワークシートはほぼ全員が持参していたので、その興味関心の深さが伝わってきた。かなり動画は子ども達の心をつかんだようだ。授業冒頭には、その日に学ぶべき内容がしっかりと分かっていた。</p>		<p>★これからもっと絵を観察したいです。</p> <p>★ひとつの絵をよく観察すると、思ってもみなかったものや見ていなかったものが分かるので面白かったです。</p> <p>★大勢で一枚の絵を見て見ると、それぞれ違う意見があったので興味深かったです。</p> <p>★作者の思い描くものと、私達の想像することに違いがあるのは面白いと思った。</p> <p>★アパートの絵を見て話し合った時、いろいろな考えがあって面白かった。</p> <p>★たった一枚の絵から、たくさんわかることが不思議だと思いました。</p> <p>★（絵を）よく見たら、（読み取れることが）もっといっぱいあると分かった。</p> <p>★観察すれば、いろいろなものが見えるということが分かった。</p>	
	<p>・NHK「読み書きのツボ(物語の型を知る)」 視聴してワークシート</p>	<p>・どの週も、NHK 動画を見てから取り組んでくるワークシートの提出率が非常に高かったので、いかに子ども達が興味関心をもってこの課題に取り組んでいたのかがうかがえる。</p> <p>・これで NHK 動画を視聴してワークシートに取り組んでくる宿題は終わりだったが、「もっと見たかった！」と子ども達は残念がっていた。普段は、補習校宿題に負担を感じる子ども達も多いが、これは子ども達が主体的に学習に取り組んでいたことで、学習意欲を高めるにも、内容を理解するにも非常に効果が高かったと感じた。</p>		<p>★ひとつでも（場面を）抜きとると、物語がくずれることを考えたことがなかった。</p> <p>★一場面でも抜けると変になるから、“物語の地図”を思い浮かべることが大事だと分かりました。</p> <p>★どこを言っていなかったのかを見つけるのが楽しかった。</p> <p>★ひとつの場面がないと、こんなに違和感があるんだと思いました。</p> <p>★一場面でも抜けていると、物語がくわしく伝わらないことが分かりました。</p> <p>★一つでも場面を抜かして語ると疑問を持つことが良く分かった。次からは、そこを意識して物語をまとめたいと思った。</p> <p>★少し抜けていても、物語が変わってしまうということが分かりました。</p> <p>★場面が一つでも抜けると、お話が全然ちがうお話になってしまうことに気付いて良かった。</p> <p>★少しだけ抜けているだけで変だと思うことに気付いた。</p>	

話す力（反転授業の「授業」の部分）	物語即興創作スピーチ① 5W1Hを意識して、2枚の絵について即興で物語を作りペアで発表。	・特に1時間目の授業では、1枚目の絵を見た時に目を輝かせていた。隣同士で「何が見えるか？」の意見交換をしたが、かなり活発的に出来ていた。		・プロジェクターで絵を示すたびに、目を輝かせて見入っていた。隣同士で「何が見えるか？」「見えないけれども何が隠されていると思うか？」「（この絵から）どんな出来事や事件が起こりうると思うか？」などについて考えさせると、かなり活発にお互いの考えを交流していた。	
	物語即興創作スピーチ② 見えるもの以外の情報を読み取ることを意識して、2枚の絵について即興で物語を作りペアで発表。	・前時よりもかなり意識して、課題の絵を観察しているのが分かった。そうすると大人が思いつかないような独創的な物語ができていた。	・「見えるもの」と「見えるもの以外の情報」の区別が難しかったようだ。教師がもっと具体例を示せば良かった。	・文章について考えたり、正解不正解がある発問について考えたりするよりも、こうした視覚的な題材について自由に考えることには、かなり子ども達は積極的に取り組むことが分かった。「どれもすべてよい答えだよ！」という雰囲気は教室にふれると、更に意見交換が活発化する。	
	物語即興創作スピーチ③ 物語には必ず出来事（事件など）があることを意識して、2枚の絵について即興で物語を作りペアで発表。	・絵から想像できる「出来事や事件」を考えることにとっても面白そうに取り組んでいた。男児児童たちは「爆発した」など、スケールの大きな内容を想像することが好きなようで盛り上がっていた。男女間で視点の違う物語交流ができていたのも良かった。	・1枚目の絵に描かれていた人物や物が多過ぎたため、どこに焦点を当てたら良いのか迷っており、物語創作がしにくそうだった。今後は、子ども達が物語創作をしやすい絵を意図的に選ぶようにしたい。	・日本語力に課題があっても人の前で発表することが好きで得意な現地型の子ども達が、クラス内発表で積極的に挙手をして話していた姿がとても印象的だった。	

書く力（反転授業後の家庭学習）	絵から想像して短い物語を書く① (5W1H)	・自由に想像力を働かせて書くことが好きな子ども達は、かなり自分の世界に没頭して書いていたようだ。子ども達からも「好きに書いていい」という課題はとめて楽しかった、との感想が聞かれた。	・創造活動が好きで与えられたワークシートいっぱい書く児童たちもいたが、逆に3行ほどでさっと終わらせて、内容を熟考したと思えない仕上がりのものがあった。これはワークシートの構成に課題もあったと思うので、次回は「分量を指定する（～行以上、～字以上など）」「行だけでなくマス目も入れる」「どこに工夫をしたかを記載する欄を追加する」など、ワークシートを改善したい。子ども達が思っていたような成果を挙げられない時は、教師からの指示の仕方があいまいだったり、指示がはっきりしていない	★物語を書いていた時に、気持ちを込めて書いたので、良く出来たと思いました。 ★絵を見て物語を書くのが、とても楽しかった。 ★物語を書く時に、絵にないものが想像できた。 ★絵から物語を探し出すのが面白かった。	●「一枚の絵を見て物語を書く」ワークシート 3枚の宿題は、心の負担になっているようですか？ (母) そんなことはありませんでした。子供なりに楽しんで取り組めていました。 (母) 物語は子どもが自分で書きました。今回は本人が書きだす前に家族で絵を見てそれぞれ思うことを話し合いました。思い思いの話が膨らみ、楽しい時間でもありました。それを本人が踏まえたかどうかは定かではありませんが、よし！と書き出し、書いている間も楽しそうなのは印象的でした。上手ではないのですが創作活動全般に好きなようです。 今回の宿題もとても楽しかったようです。このような素晴らしい機会を与えてくださり、親としても心から感謝しております。 (母) 子どもの心の負担にはなっていませんでした。自分が思いのままに自由に書いていたとは
	絵から想像して短い物語を書く② (5W1H、見えない物を想像する)	・授業中は控えめな子どもでも、出来上がった物語を読むと、豊富な語彙を駆使し表現豊かに書けていたので、日頃から頭の中で様々なことを考えているのだと、発見があった。		・日本語で話したり書いたりすることが困難なため、補習校宿題を家庭教師に手伝って貰っている児童がいる。普段は「書く課題」では苦勞をするが、この物語創作の各課題では、特に3週目の絵について想像力が果てしなく膨らみ、無我夢中でファンタジー的な物語を書いていたようだ。出来上がった内容も素晴らしかったの、学級通信に記載し、クラス全員に読んで貰った。	
	絵から想像して短い物語を書く③ (どんな物語にも問題=Conflictがある)	・NHK 動画「読み書きのツボ」について大切なことを確認したあとに行うこの創作スピーチは、授業開始時の良いウォーミングアップ活動となっていた。			

			<p>ことが考えられるので、この件は指導者としての自分の課題として残った。</p>	<p>思います。</p> <p>ただ、私が見直す際に日本語ではわからないことが多く、これは何を言いたいのかと聞くと、英語ではこういうからと、英語でその言葉を教えてくれましたが、英語を直訳して日本語で文章に入っていたため、添削するのに苦労しました。</p> <p>(母) 元々、考えたり、想像したりして、何かを作ったり、書いたりすることが好きなので、今回の「一枚の絵を見て物語を書く」のワークシートは、子どもには負担ではないようでした。通常の宿題は、キッチンのテーブルでしますが、このワークシートは、うるさいと集中できないと言って、一人で部屋にこもり、自分なりに感じ想像したことをひたすら書いていました。書き終わった物語を読んで、私に直して欲しいと言ってきましたが、それでは本人らしさが無くなってしまおうと思い、そのままの状態提出させて頂きました。</p>
--	--	--	-------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

「『鳥獣戯画』を読む」本文読解	<p>「『鳥獣戯画』を読む」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全文通読 ・段落分け ・大まかな内容の理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テストでかなり高得点が取れていたのを感じた。 			
	<ul style="list-style-type: none"> ◆クイズオリエンテーリングの準備 ・児童 2～3 名のグループが各段落の担当者となる。 ・グループごとに○×クイズを 1 問、QA クイズを 2 問作り、画用紙に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語力に応じて、日本語が得意な子ども達とそうでない子ども達を意図的に交ぜてグループに分けたことで、グループ内での助け合いが実現できたと思う。 ・自分の担当の段落だけ一生懸命に読みクイズを作れば良かったので、日本語力に課題のある子ども達でも気持ち的なハードルは低かったようだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時間不足で、問題の作り方だけ説明し、問題例を提示しなかった。そのため、各段落の本文理解が深まらないような問題もあった。それでも子供たちは「何とか難しい問題を作ろう」と一所懸命取り組んでいたようだ。次回は、時間をしっかり確保し、問題例もきちんと示したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ★面白い問題を作れて良かったです。 ★みんなで考えることができて良かった。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ◆クイズオリエンテーリングの本番 	<ul style="list-style-type: none"> ・かなり一生懸命にそれぞれの段落の質問に答えようとしていたため、自主的に本文の内容理解が深まっていた。通常の授業で段落ごとに内容の読み取りをしていくよりも、短時間で深い理解までたどり着けたと思う。 ・教科書本文を見て正解を出した時と見ないで正解を出した時とで、得点を変えたことが子どもたちのやる気を奮い立たせていた。こうしたほんの少しの工夫でも子ども達の学習意欲はグンと増すことが体感できた授業だった。 ・通常の本文読解の授業だけでなく、たまにこうしたクイズ形式の読解を行うと、非常に効果的なことが分かった。今後も単元を選んで実施していきたい。 		<ul style="list-style-type: none"> ★クイズオリエンテーションが楽しかった。 ・自分の力だけでは、問題を理解し答えることが非常に難しい子ども達が多かったので、その場合には日本語が得意で 9 段落すべての問題が早く終わった子ども達をサポートで付けた。そうしたところ、隣に立ち、本文のどの辺りに正解が書かれているかなどを示してあげたりして、得意な子どもが苦手な子どもを助ける姿が見られた。 ・授業後に、「またやりたい！」という声が多かった。先生から何かを教えて貰うのではなく、自分達で答えを探しに行く、という活動が子ども達に学習意欲を湧き立たせ、主体的に本文を理解しようという姿勢に繋がっていた。 	

場面1～6(4～5名)の6グループに分かれ、「創作アフレコ」活動を行う。

- 担当になった場面の動画を視聴する。
- キャラクター設定
- ストーリー設定
- セリフづくり

↓

※場面ごとの台本が完成する。

・グループ内で相談をしながら、キャラクター設定やストーリー展開を決め、それに合ったセリフを考えることを楽しそうに行っていた。自分の得意分野(日本語が得意、想像することが得意など)で力を発揮することにより、「協働活動」の楽しさを味わいながら、台本づくりが進められていた。

・子ども達だけでは台本づくりに煮詰まっている場面があったが、ボランティアで入って下さった保護者の方々がファシリテーターとして関わって下さったことで乗り越えられていた。2～3週間に渡りお手伝い頂いた保護者の方々からは、「子ども達でもこんなに協働活動ができるんですね。すごいですね。子どもの頃からこうした練習をしておく、将来会社勤めをした時にとても役に立ちます。」など、今学習していることの意義を再確認できるフィードバックを頂けた。また、保護者の方々にも、今回の授業が目指しているものをよりよくご理解頂けたので、学級と家庭の双方にとってとても有意義な授業となった。

・日本語力に差のある子ども達で同じグループが構成されていたため、日本語に課題のある子どもたちの語彙力向上に繋がったと思う。アフレコには、擬音語や日常会話で使われる表現なども多く、普段日本語を使う機会の少ない子どもにとっては、新たな表現を学ぶ良い機会となったのではないかと思う。

・毎時間、欠席者(現地校行事、習い事、スポーツなどの理由)がいるグループも多かったのですが、台本が仕上がったのが発表会の一週間前だった。そのため、仕上がったセリフを見直し、推敲する時間がなかった。

・シーンごとの動画の長さや出てくるキャラクターの数に違いがあったので、セリフを考えるのに苦労をしていたグループもあった。

★みんなで台本を作ったところが面白かったです。

★面白いアイデアを出せて良かったと思います。

★再租は緊張したけれど、自分の話す番になったとき、よく出来たので楽しかったです。

★グループと一緒に話し合いが面白かった。

★グループ活動が出来たことが良かったです。

★グループの中では、自分のアイデアをいつもしっかり言えていた。

★みんなで一つ一つのセリフを考えて、うまくつなげていくのが難しかったです。

★もうちょっと自分の意見を言えば良かった。

★人の意見が聞けて良かった。

●創作アフレコについて家で何か話をしましたか？

(母) 自由な発想で意見を述べたり、グループの友だちからの様々な意見が聞くことができ面白くと話していました。

みんなで同じ絵を見ても、それぞれが全く違う想像をしたり、違う台詞が浮かんでくるので、多面的に物事を考えることを

学んだようです。お互いの意見を否定せず、みんなで上手に話し合って

進めることができたようです。

また是非やりたい。次回は、シーンの続きをみんなで創りたいと言っていました。

(母)「鳥獣戯画」の動画は何度か一人で見たようです。読みの練習を前の日に数回やりました。

(母) アフレコを作る時にお休みしてしまい、自分の意見が言えなかった事が残念だったと言っていました。

<p>参観日に創作アフレコ発表会を実施</p>	<p>・自分以外のグループの発表を見ることで、「次はこうしたい。ああしたい。」と様々な振り返りが出ていた。複数グループで「ナレーターを入れれば良かった。」とあったので、もしもう一度同じ授業を実施することができれば、今回以上に質の高い台本が仕上がり、アフレコ発表でも更に気持ちを込めて発表ができると期待される。</p> <p>・「こうすれば更に良かった。」という振り返りが、教師から指摘されるのではなく、子ども達自信から自発的に生まれたのが大きな成果であった。こうした気持ちが次回の学習への意欲へと繋がっていくと思われる。</p>		<p>★しっかりと積極的に取り組みました。セリフのタイミングをもう少し合わせたかったです。</p> <p>★初めてアフレコをやってみて、すごく楽しかったです。グループのみんなもがんばってくれたので、上手に出来たと思いました。</p> <p>★ナレーターを入れることを考えなかったのが、がっかりしました。</p> <p>★台本を見ないでやるのは難しかったです。</p> <p>★動画を見ながら登場人物の話し方や表情を表せて良かったと思う。</p> <p>★グループでした練習の成果が出せた！</p> <p>★完全に登場人物になれた。</p> <p>★台本を見ないで話せた。</p>		<p>(母) 楽しい授業参観ありがとうございました。先々週よりも子供たちのやる気、力がアップしていて、さすが6年生!だと感じました。</p> <p>(母) 先日の参観日は楽しませて頂きました。一人一人の個性が出ていて、その個性を大切に大きく育てて欲しいと思いました。日本の社会、とかく社会人になると個性を押し殺さねばならない環境が多い中、伸び伸びと個性を大切に輝いてほしいものです。ポジティブな感想のみを述べる、というのは個性を伸ばしていくうえでも素晴らしい事だと思います。</p> <p>教室に座らせていただき、授業を聞きながら子供の頃、勉強が好きだった自分を思い出しておりました。新しいことを学ぶエキサイトメントを久しく忘れておりました。授業に思わず聞き入り、新しいことを子供と一緒に学ばせて頂き、久しく刺激していなかった部分の脳の刺激になりました。</p> <p>(母) アフレコ発表会の動画を共有していただきありがとうございました。子どもと二人で鑑賞しました。本人は他のグループを見て、もっと頑張ればよかったと少し後悔していましたが、それも良い経験だと感じました。楽しく学ぶ授業、毎回ながら感動しました。ありがとうございました。</p>
-------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>朗読テスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朗読テストは、必修として第 1 段落、選択必修として各自が好きな段落を一つ選ぶ。 ・朗読は、ルブリックを用いて評価し、成績に加えることを通知する。今回は朗読を聞いた保護者に評価をお願いします。 ・自宅で録画した朗読動画を、Google Drive へアップロードするか、USB へ入れて提出して貰う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者による評価と動画を見て教師が出した評価がほぼ一致していることが大方。中には保護者の評価の方が厳しいケースもあったくらいだ。保護者の方々は我が子の力をよく把握しようと、瀬積極的に関わって下さったことを感じた。 <p>【参考】</p> <p>「朗読テストシート」の保護者コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単語のイントネーションに苦労していましたが、よく練習していました。 ・楽しい宿題でした。 ・難しい朗読でしたが、声の大きさやスピード、抑揚のつけ方など、感情を込めてとても上手く読めたと思います。 ・最初は言わないとやってくれませんでした。録画したりして、自分が読んだところを聞き直したり、アドバイスを受けて練習するうちに、「もう一回やる。」と自ら言ってくれたのは大きな成長だったと思います。親子で楽しく取り組みました。 ・何度も何度も練習して頑張りました。 ・何度も練習すると良くなっているように思う。 ・発音しにくい言葉が入っていた文も、何度も何度も練習して上手になりました。おすもうの場面の臨場感と段落ちの説明を落ち着いてしているところを対比させて読もうとしていました。 ・かなりがんばって練習していました。 ・毎日練習して、よくがんばりました。 ・限られた時間の中で、よく読めました。 ・我が子なりに頑張ったかと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全家庭に Google Drive の共有ホルダーのリンクを送信し、希望者はそこにアップロードして貰ったが、この方法だとリンクを共有した誰でもすべての動画を見ることができるシステムだった。実際には、それで他の子どもの動画を見た方はいないと思われるが、他に、もう少しセキュリティ度の高い動画のアップロード法があれば探してみたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ★私は「鳥獣戯画」を朗読していた時に違うキャラクターになれたので、すごく出来たと思います。 ★読むとき、もっと感情を入れれば良かった。 ★感情があまり込められなかったから、次はもっと込めたい。 	<p>(母) 家庭での練習中、とても緊張して、集中力がすごかったです。</p> <p>(母) 照れもあり最初は早口で棒読みでしたが、私が大袈裟に朗読して見せたりして、何度かやり直しをしました。</p> <p>なかなかこのように親子で取り組む機会もなかったので、楽しかったです。</p> <p>いつも「宿題やりなさい！」とばかり言っている母親が同じ課題に取り組んでいる姿を見て面白かったようで大笑いしながら私の朗読の姿を動画に撮っていました。</p> <p>貴重な機会をありがとうございます。</p> <p>(母) 最初に声だけから動画に変更すると言う事を聞いて、とても恥ずかしそうにしていました。</p> <p>また、今までは机の上にある携帯電話に向かって音読していたので声も大きく聞こえたのですが、動画になるともっと大きな声で読まなければならない、声の大きさが違うということで 3 回ぐらいやり直しが必要でした。</p> <p>でも、何度か撮って、見直しているうちに、自分からもう一回やり直すと言い出したのにはびっくりしました。</p> <p>(母) いつも褒めて頂いて、私も子どもも日本語学習のモチベーションが上がります。本当にありがとうございます。朗読テストの動画も、褒めて頂きましてありがとうございます。一生懸命練習していたので、その成果が出たのだと思います。</p>
--------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

●この単元全般を通して、何かコメントがありますか？

(母) 大変素晴らしかったです。

鳥獣戯画という題材が非常に素晴らしいものであったことはもちろんですが、グループワークを通じて、自分の考えをまとめたり、伝えたり、擦り合わせをしたりする作業は、子供たちにとって将来必要な「コミュニケーション能力」が育まれると思いました。難しいプロジェクトにもかかわらず、生き生きと取り組んでいる子供たちの姿がとても印象的でした。授業が進むごとに、親である私たちもこのプロジェクトにすっかり魅せられてしまいました。

限られた時間数の中でここまでの授業を行ってくださった先生方に感謝申し上げます。グローバルな時代に相応しい人材に育てて行くために、自分自身が努力をしなくてはと考えた次第です。アメリカに来てこのような授業を受けることが出来、子供はとても恵まれたと思います。

(父) ・PC を授業に使うのは米国の学校がたいへん進んでいる。日本の学校ももっと取り入れるべき。

・日本の子供たちがグループディスカッションで意見を述べながら創作することは、子供たちの発想力、プレゼンテーション力を伸ばすのに大変有効。日本人は苦手だが、会社ではこういう力が求められる。

・創造力のない児童には負担になる面もあるのかもしれないが、そのような子は見当たらず。自由に積極的に発言しており大変すばらしかったと思う。

(母) いつもは、教科書も一緒に見ることなく、車での移動中に音読をさせていましたが、今回は朗読テストと言われ、横に座って、わからない言葉などは、意味を調べ確かめながら、親子でちゃんと練習できたのはよかったです。音読の際、いつも気になるのが、わからない漢字を訓読みで読み、頓珍漢な言葉のまま音読することが多いことですが、何度も練習する前に、授業が次の単元に移ってしまい、十分な練習が出来ないことが多かったです。今回の単元でびっくりしたことは、『『鳥獣戯画』を読む』の単元テストで、両面とも 100 点を取ってきたことです。姉二人も表は 100 点を取っても、裏（言語や漢字）は散々なことが多く、今回はびっくりしました。本人に聞くと、「なんだかスラスラ解けた！」と、とても嬉しそうにしていました。気のせいかもしれませんが、今回の取り組みが功を奏したのかなと思っています。

(母) ただ教科書通りだけでなく、その先にある物を見出す力を着ける（子供の想像力を引き出し、高め、豊かにする）貴重な学習だったと思います。特に「鳥獣戯画」の創作アフレコや、朗読テストは、忘れられない思い出として、子供達の心の中に刻まれたと思います。とてもいい授業でした。

(母)

反転授業

始める前は、授業の予習を家庭でしなければいけないのか！とかなりの重圧を感じましたが、いただいた教材が、動画であったこと、教科書の内容を予習していくものではなかったこともあり、親子で楽しく動画視聴をすることができました。普段の宿題だと、こちらも学校で習ったことだし、“やっておきなさい”で終わってしまいますが、動画を見て質問に答えるという形式は、親も興味を持って取り組みました。

映像から情報を得ることに慣れている現代っ子にはとてもとつきやすい形式の反転だったと思います。また、授業では、一対大勢のため、自分が聞いていなくてもいいだろう、と思ってしまうことも、動画を見て質問に答える形式だと、自分で情報を読み取り、書き出すことが要求されるためか、積極的に動画を何度も見て、自分で答えを引き出そうとする意欲が見られました。

選んでいただいた教材自体も、英語を母国語とするわが子でもわかりやすく、ポイントがしっかり絞られたもので良かったと思います。我が子にちょうど良い教材だと感じたので、駐在でいらしているお子さんには少し簡単だったかもしれません。

朗読テスト

とても緊張して何度も撮り直しをしました。本人は恥ずかしさや映像に残ってしまうのが嫌だという気持ちがあったようです。

普段、国語の教科書をすべて音読するのは、アレンにはハードルがとても高く、多くの宿題のなかで、後回しになってしまう課題です。しかし、必ず、録画して提出しなくてはいけない、となると、子供も自覚をもって、何度も練習していましたし、普段の音読では気持ちを込めて読む、場面を想像して読む、などができず、義務感からの音読になっていたのが、今回は情景が思い浮かぶのではないかと、思うくらい、工夫を凝らし、読むだけではなく、聞き手に伝えるための読み方を自分なりに考えることができたのではないかと思います。

アフレコ

グループ活動にいただいたおかげで、日本語力に差がある補習校のクラスでも、どの子も自分の役割をもって取り組むことができたと思います。昔のまき絵に、現代っ子らしいアフレコが溢れていたのが印象的でした。大

人の目線では、規定概念にとらわれ、この絵は、こう解釈しなくてはいけない、、、と思いがちですが、子供たちの考えたアフレコはユーモアや想像力にあふれたものだったと思います。発表の前の回からボランティアに入り、子供たちの考えた台本にアドバイスをしましたが、どうしても、私の固定観念の入った意見を言ってしまう、子供たちもそれに伴い、台本を直したりしたので、むしろ、アドバイスをしないほうがよかったのかな、と今は思います。

子供たちも初めての経験で、どうやっていいかわからない部分があったと思います。授業参観の本番で、他のグループの発表を聞き、たくさんの気づきがあったようなので、再度、同じグループで、台本に手を入れてもらい、もう一度同じルーティンを繰り返したら、もっと想像力にあふれた作品ができるのではないかと思います。

この活動は、グループ活動ということもあり、日本語ができる子が苦手な子の手助けをし、苦手な子もグループの一員として、一生懸命練習していたのが印象的でした。国語学習としてだけでなく、できる子が苦手な子を、苦手な子が得意な子を認め合い、お互いに尊重しあい、助け合うこと、尊敬すること、など、とても道徳的な要素の強い活動だったという印象を受けました。これは、まさに補習校ならではの、学びの場だなと思いました。

絵から想像してお話を作る

普段から作文は大の苦手です。題材を与えられても、そこからイメージをふくらまして、日本語で表現することが難しいと感じていると思います。しかし、視覚的要素の強い絵からお話を展開していくのは、文字で題材を与えられるよりもずいぶん文章が書きやすかったようです。与えられた絵によって、想像のしやすい、しにくいはありましたが、自分でストーリーを考え、反転授業で見た動画の大切な要素を盛り込みながら、四苦八苦しながらも嫌がらず、意外と楽しんで文章を書いていました。文法的な部分は親がフォローをしてあげたところもありますが、一人で起承転結を結べたのは素晴らしいと思いました。

長男の時の教科書一辺倒の授業と違い、親の介入度は本当に多かったです。我が家は末っ子で、対一でこの活動に向き合えたので、本人にとっては、本当に実りのある授業になったと思います。今すぐに国語力があがった！とは言えませんが、着実に次の段階の日本語学習に向けての基礎固めをすることができたと思います。ただ、漢字を何度も書かせる、題材だけ与えて作文を書かせる、など、やられる感じの授業では身につかない、日本語の基礎、応用力を伸ばすことができる授業だったと思います。

他に兄弟のいる方や、現地校やスポーツとの両立をしなくてはいけない家庭では、時間の確保が難しかったのではないかと思います。